ヌ 当二 古 木 引力 傷 ケ = テ ŀ 向 モ 枝 タ ヲ シ、 ぉ゚ キ 同 リ ト 寺 月二 = P ٠, 恭 jν ۲ シ H レ 午 前 + 時頃 タリ六百年ノ龍眼の 名 力 ŋ 粉 雪 木 ガ サ ラ 瞬ノ 後ニハ N 日 化ケノ デ ア ッ タ ガ ハゲテたぶの キ IJ す

とともに ゟ 隆

軸 床 掛 海ダガ正義ハ街ッテ居り龍眼樹芽ともい とずゑもきよきみそらなり 書イタ書ャ大分名士ガ來 テホ

力

ソ ガ

レ

デ住職

=

結局切ッ

テ佛

像タキ

ザ

2,

ŀ

云フ

事 ハマ

=

落着 ゲ

ハ芽出度イ事 カラ牧野先生

デ 力

南 =

無

阳

陀

佛 サ テ

ン

モ

フノ

眼

シ

珍

重

シ

ラ

E

ラ嚴 7

肅

引導 龍

ガ ŀ

渡

然 ダ

シ 毛

ラ

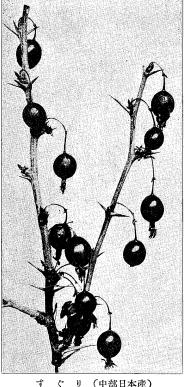
レ ナ タ 1 イ

タ

間

=

枝 片 葉 (其四十三)



ζ* (中部日本産) Ribes grossularioides MAXIM.

野 何ド ンナ 富 植 太 物 カ 郞

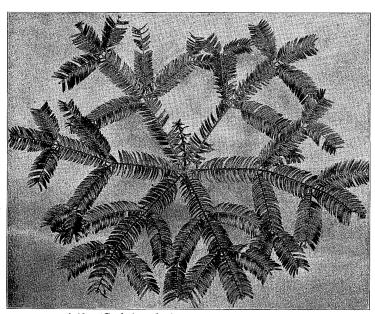
今

日

牧

邦特有ノ者デ此者以外ニ單ニす Gooseberry ix 洋 物 ズ 藝界デハ學者 何レ カラ來 すぐりヲ ブベキ 屯 皆謂 タ Currant デモ 植物 知 ト謂 ŧ ユ n ハーモナ ナイ、 ラナイ、 1 ハズ實際家 すぐりヲ ナ 知 ŀ

西 本



いぬがや (Cephalotaxis drupacea Sieb. ET Zucc.) ノ梢末 (清水藤太郎君撮影)

Þ 呼ヲ ブゼ デ モ E モ チ **≥**⁄ ノコトニスル)せいやうすぐ) 通 西 其 ナ類 クまるすぐり テ ガ゛ リ我日本 ŀ, ナ ヲ證據 ガ ィ 3 Æ 其 多 y ハ意 力 イ \mathcal{F} ヲ 殘 形 立 思 味 n 3 1 西 ·中部日· 並 特產 頂 念 デ IJ デ且熟 Ribes テ **≥**⁄ ヲ 洋 (単類ノ質ハ皆圓イカラデアル) 出名ハ餘り良クナイ何トナレー部 日本ノ 山地ニ 生ジ 其 7 ガ 改 率 成 其 v 7 良 居 直 デ サ 力 Ħ ヲ Grossularia ス n = ナ ヲ 何 ぬがや (Cephalotaxis ク其 加 ガ違 ŀ 1 ŀ 其 ŀ 謂 噌 デ ガ 力 ラ 園 レハ先年千野光 ハ Æ grossularioides (Torreya nuci 其果實 其仲 ラ 糞 形 何 カリ 々生長ヲ停 モ ヲ 容 Æ Þ 間二 其 派 方面 詞 デ ヲ E ナ デ 付

=

シ

IJ

ラ

レ

ゔ

、銀 地 め α

ŀ

枝 片 葉 其四 +=)

此 Þ 長 ン お ナ ヲ 涿 專 Ŀ 側 ゲ ナ 枝 Š 家 シ iv 7 三 毎 中 能 其 牟 デ ク V 考 生 故 長 此 \sim テ シ = ダ テ 揭 モ ケ = 分 居 ゲ 生 在 ラ タ 長 ッ 寫眞 ン ŀ ス テ 事 Æ n ダ 中 Æ 其 1 ガ 央 ヤ ゥ Щ 1 向 野 頂 ナ = 末 條 姿 ヲうろ 知 梢 ラ呈 ラ 最 ン Ŀ うく ス ス 顏 ŀ n ッ ŀ 半 = 直 プ 時 þ 兵 立 R 衞 = セ シ 御 ナ ヲ n 本家 目二 ıν キ 斡 メ 條 力 ハ太トラ 込 卽 通 3 チ ,此寫眞 偶 n 常 = 時 ズニ 思 Z = Ŀ 其 分家 見 出 生 葉鞘 n シ 長 ノミ 7 タ ヲ ノ完筒ヲ成ス禾本 ゥ P 停 ガ繁昌 _ ゥ 止 側 = シ 枝 其 シ 節 ノ テ 方 間 狀 扂 ハ ダ 年 Ж ケ

き園 モ 大 Þ 莎 草 坂 ŀ (Bromus) みち 科 本 類 神戸邊ニ しば、 1 ŀ 葉 同 ノ諸 鞘 樣 Œ ナ ハ 種 切花 がへりがや属 其 æ 即チすずめのちゃひき、 1 方縱 ガ 用 7 ウル jν = 裂 あか (Brylkinia) テ居 卽 チ どぢ しあニニ jν 1 ガ Þ 通則 1 うつなぎ屬 きつねがや、 種 Œ ア ダ から ガ然 ッ \sim りがや テ諸 シ (Glyceria) 中二 處 V ¥2 = モ 其 むぎ 同 ハ 其 揆 V ガ , 鞘 デ ナ 諸 植 ア F_{ϵ} ノ 兩 種 モ 工 n 縁相 同 ハ 皆是 樣 聯 デ 文とめ アル、 合 V あかしあ デ シ γ テ完筒ヲ成シ がや屬 n, 卽チ其一ハぎんば ノニ種 叉す (Melica) ۳ テ居 Ď 0 關 5 jν 事 ح 西 æ

宛

學名 頗 他 Щ n か うせ 村 __ ノ 俗 種 デ あ æ ì 稱 1 タ ハ 1 ハ v / 名ヲ與 デ 之 は スルきんえふあか 力 ŀ ラ見 だか ァ 答 ν n 3 \sim 付 ほほづき Þ y ヘタ ŀ ケ 思 是レ 普通 、數年前攝州蘆屋 刄 フ ラ 皆摘 ハ 是 = 多分ア しあ みばつめノ方言 品 v デ其再 ヌ デ葉 くろうめもどきノ Ħ 3 力 ば ŀ シ 云 つ 挧 ۱ر ノ一人家 ア、 フノ め 狀葉 白綠 デ 色 デ ガ = 7 ァ ア ヲ 曾 二裁工 i ふな n, n 呈 テ バ 之レ 駿州 田 タ 中 は テ居 ア だか ハ 貢一 富 (Acacia dealbata Link.) n 皆摘 士 ŀ Æ 君 Ш B 細カ ノヲ見テ其家ノ下僕ニ其名ヲ尋ネタラア Acacia Baileyana, B カラ メ づき 方 キ小葉ヲ多數 3 次ノ様ナ事 言 ŀ デ 云
フ
意 枝 な す 棘枝 科 デ 此 ラ = ヲ指 草 聞 大 着 ガ F. MUELL. 形 7 1 イ ケテ居 葉ヲ タ、 ッ ナ **≥**⁄ ヌ テ ıν Ź æ 宿 U 卽 jv, た チ 根 V ノ學名ヲ有ス デ本品 私ハ之レニふさ 越 草 L 後 デ = 刺 闊 中 **シ** サ 頸 n キ テ 力 食 蓋 葉 **≥**⁄ ヲ 郡 シ 此 バ松

Z

n

故

斯ク云フ

ŀ

"

事

デ

ア

叉其材ガ

いす

0

£

=

似

ァ

居

N

カラ

すざくら

ŀ

呼

ブ

處

ガ

7